

赤道ギニア

～ 3つの公用語～

在ガボン日本国大使館
(赤道ギニア兼轄)

「赤道ギニア」と聞いてどんなことを思い浮かべますか。

赤道直下の国！と思いがちですが、赤道から少し北に位置しているので、赤道直下ではありません。国土の90%以上がアフリカ大陸にあるにもかかわらず、首都はギニア湾に浮かぶ小さな島・ビオコ島に置かれています。

赤道ギニアには、公用語が3つあり、第1公用語はスペイン語、第2公用語はフランス語、第3公用語はポルトガル語です。アフリカの国々には旧宗主国の言葉とともに、複数の民族の言葉が公用語と指定されている国は多いですが、3つある公用語全てが旧宗主国の言語なのは珍しいと言えます。また、アフリカで唯一のスペイン語を公用語としている国です。

それでは、国民はどの言葉を使っているのでしょうか。やはり、ほとんどの国民が話せるのは第1公用語のスペイン語です。教育やビジネスでは全てスペイン語が使われています。しかしながら、日常生活の中では、人口の80%を占めていて主に大陸側に暮らすファン族はファン語、次に人口が多くビオコ島に住むブビ族はブビ語を使って生活しているようです。

(了)